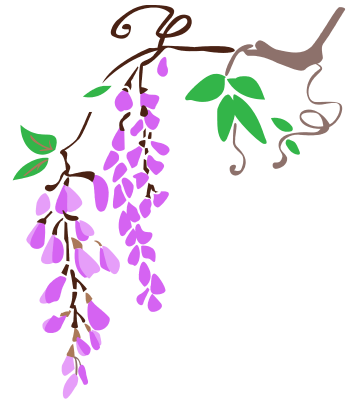




# 日常五心



日常五心とは、日常生活で忘れてはならない大切な心がけを説いたものです。教育の指針や家庭のしつけとして広く用いられています。

## ・「はい」という 素直な心

「はい」という一言、誰の呼びかけに対しても素直に「はい」と返事をする事ができていますか。「はい」とは仏様を礼拝するという拝の字に通じているのではという話を聞いたことがあります。拝む時の素直な気持ちで「はい」と返事をしましょう。仏様の声だと思い、気持ち良く「はい」と返事のできる人になりたいものです。

## ・「すみません」という 反省の心

お大師様の教えに「自らをかえりみることの出来る人と、いたずらに他を恨む人と、そこに教養の高さ低さが現れる」とあります。『すみません』には深い意味があり『これでおわったのではなく、必ず償いをします』の思いがこめられているのだと聞いたことがあります。口先だけでは無く心をこめ、償いの思いを込めてこそ、「すみません」となるのです。心して「すみません」とつかいましょう。

## ・「おかげさま」という 謙虚な心

お大師様の教えに「一切衆生を觀るに、なおしこしんおよび四恩の如し」とあります。四恩とは、父母の恩、国の恩、衆生の恩、三宝の恩です。自分自身がほかならぬ「四恩」のたまものです。生きとし生けるものすべてが我が身であると思いなさいということです。「ぼくが、私が」とついつい口に出がちですが、分かちあいの心、つくしあう心を深めて「おかげさま」という謙虚な心を養いましょう。

## ・「私がします」という 奉仕の心

私たちは、生きているから働きます。だから、にんべんに動くで働くをいう漢字になります。また、働くは、ハタとラクに分けられます。はたを楽にする、つまり働くとは、周りを楽にするということで、すばらしいことです。このように考えると、周りの人のために私に何が出来るか、させていただけるかということでしょう。「私がします」という奉仕の心を養いましょう。

## ・「ありがとう」という 感謝の心

私たちの周りの人々や出来事への感謝の気持ちが「ありがとう」です。また、時をさかのぼり、ご先祖やそれに関わるあらゆる事への感謝の気持ちです。日々「ありがとう」という心を持ち過ごす事で、どれほど豊かな心で生きていけるでしょう。「ありがとう」と言う人も、言われる人も、感謝の心で満たされ穏やかな気持ちになるでしょう。生きている、いや生かされているありがたさに気づくことにより、この「ありがとうという感謝の心」が養われるのでしょ。

※4月25日(土)の浦島デーでの学級PTAにおいて各クラスより1名以上の役員への立候補をお願いすることとなっています。積極的な立候補のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。